

取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容		担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って
省エネルギーの推進	日常の学校生活の中で省エネルギー活動を実践します。	1	使っていない電気をこまめに消し、水道は流したままにせず、蛇口をきちんと閉める。	全職員	全学年 教職員	日常の学校生活の中で省エネルギー活動を実践した。 使っていない電気をこまめに消し、水道は流したままにせず、蛇口をきちんと閉める。 雨水をためるタンク「雨みず君」に水をため、花に水撒きをするときに利用した。	【取組の評価】■達成できた □ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 学級指導全般や委員会活動を通じて、職員・児童全体で取り組むことができた。 【今後の課題】 引き続き活動を継続して、啓発を続けていくことが大切である。
		2	雨水をためるタンク「雨みず君」に水をため、花に水撒きをするときに利用する。	緑化委員会	児童		
資源・4R・廃棄物削減の取組	ごみの分別・リサイクル活動等を推進し、ごみの量を減らします。	1	資源の再利用や、ごみ問題など、身近な環境学習を、施設見学を通して学習する。	4年各担任	児童	ごみの分別・リサイクル活動等を推進し、ごみの量を削減した。 資源の再利用や、ごみ問題など、身近な環境学習を、施設見学を通して学習した。 国土の自然・森林の働きについて学習した。 エネルギーについて、地球環境と自然の力を学んだ。 ICT技術の活用により、紙の使用を控えた。 給食での牛乳パックの再利用を進めた。	【取組の評価】■達成できた □ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 学級指導全般や委員会活動を通じて、職員・児童全体で取り組むことができた。 【今後の課題】 引き続き活動を継続して、啓発を続けていくことが大切である。
		2	国土の自然・森林の働きについて学習する。	5年各担任	児童		
		3	エネルギーについて、地球環境と自然の力を学ぶ。	6年各担任	児童		
		4	ICT技術の活用により、紙の使用を控える。	全職員	教職員		
		5	牛乳パックの再利用	各学年担任	全学年		
生きもの・みどり	植物の育成等を通して、子どもたちの自然を大切にすることを育てます。	1	一人一鉢栽培の実施	1・2・3年各担任	児童	植物の育成等を通して、子どもたちの自然を大切にすることを育てた。一人一鉢栽培の実施をした。緑を増やす工夫をする。(ツルレイシを使った緑のカーテンづくり等) 野菜の栽培と収穫を通して、自然にふれあう。	【取組の評価】■達成できた □ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 学級指導全般や委員会活動を通じて、職員・児童全体で取り組むことができた。 【今後の課題】 引き続き活動を継続して、啓発を続けていくことが大切である。
		2	緑を増やす工夫をする。(ツルレイシを使った緑のカーテンづくり等)	4年各担任	児童		
		3	野菜の栽培と収穫を通して、自然にふれあう。	1・2・3年各担任	児童		



ゴーヤは優れた観葉植物であり、繁茂する葉が室内の冷暖房効果を向上させ、夏の直射日光を遮ることで室温を快適に保ちます。朝顔は迅速に成長し、美しい花を咲かせるだけでなく、夏の日差しを和らげ、室内の温度を調整します。朝顔の葉が外部からの光線を遮り、適切な室温を保つことで、クーラーやヒーターの過度な使用を防ぎ、エネルギーの無駄を減少させます。

これらの緑のカーテンの設置は、私たちの日常生活においてエコフレンドリーな活動を促進する一環です。エアコンやヒーターの節約だけでなく、酸素供給や空気浄化にも寄与し、より持続可能な生活を目指しています。これからも、さまざまな方法で環境に配慮した行動を積極的に取り入れ、地球環境の保護に貢献していきます。



●学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

赤池 理

【今後の方向性について】

節電、節水等省エネルギーの意識はあるものの、教室に誰もいないのに電気がつけっぱなしになっていたり、水道の水が出しっぱなしになっていたりする場面があるなど、実際の行動に生かされていない場面を見かけることもあった。エネルギーや資源を大切にすることについては、児童の委員会活動にも取り入れ、日頃から呼びかけやポスター掲示等でより一層の活動につなげていきたい。

海に近いという環境のもと海岸の汚れにも着目することができている。机上の学習だけでなく実際に海岸に赴き現実を目の当たりにして自分たちで考えることにより、生きた学習となっている。特に4年生は年間を通して総合学習で「海」をテーマに取り上げて学習を重ね、6年生は地球規模の環境問題から自分たちの住んでいるこの地域の環境問題に目を向け、実際にごみ拾いに出かけるなど環境に対する問題化・意識化に努めた。

また、理科や生活、総合等で植物を育てることで自然を大切にすることの意識化が図れたことに加え、野菜栽培や給食食材の皮むきなどを通して、食料問題についても考え行動に移すことができた。

今後については、この恵まれた環境を活かし、今までの積み重ねに加え、自分たちで環境について課題を設定し、自発的に探究できるように手助けを行っていきたい。